

アスファルト混合物配合報告書

報告年月日 2026年2月

殿

製造工場名 大成ロテック(株)鳥取合材工場

混合物の種類 密粒度アスコン(13)

報告者 津田 喜明

工事名称

所在地

納入予定時期

1. 使用材料の種類及び産地

材料の種類	製造会社名	産地	材質
6号砕石	(株)佐藤砕石	岡山県勝央町	安山岩
7号砕石	(株)佐藤砕石	岡山県勝央町	安山岩
粗砂	(株)住若	佐賀県唐津市	海砂
スクリーニングス	(株)佐藤砕石	岡山県勝央町	安山岩
石粉	足立石灰工業(株)	岡山県新見市足立	石灰石粉
ストリートアスファルト	昭和瀝青工業(株)	兵庫県姫路市	60-80

2. 配合割合

材料	6号砕石	7号砕石	粗砂	スクリーニングス	石粉								
配合割合(%)	35.5	17.0	28.0	14.0	5.5								

3. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600μm	300	150	75
通過率					100.0	99.8		65.8	45.3		25.5	14.0	8.0	6.7

4. 室内配合アスファルト量及び製造の温度・時間等

アスファルト量 (%)	密度 (g/cm3)	空隙率 (%) ( 3~6 )	飽和度 (%) ( 70~85 )	安定度 (kN) ( 4.9以上)	フロー値 (1/100cm) ( 20~40 )	理論密度 (g/cm3)	突固め回数 (回)
5.5	2.385	3.8	76.8	8.15	30	2.478	50
アスファルト温度 (°C)	骨材の加熱温度 (°C)						
157	190						

骨 材 試 験 成 績 表

目 的 配 合 設 計

報告年月日 2026年2月

報 告 者 津 田 喜 明

試験項目		試験規格	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉			
密度	表乾	JISA 1109 JISA 1110	2.630	2.631	2.583	2.668				
	かさ		2.588	2.591	2.539	2.621				
	見掛		2.701	2.701	2.656	2.750	2.710			
吸水量 (%)	JISA 1109 JISA 1110	1.62	1.56	1.74	1.78	0.01				
呼び以上のすりへり減量 (%)	JISA 5001 JISA 1121	17.5								
安定性 (%)	JISA 1122	1.4	0.7	2.5	2.1					
骨材の微粒分量試験通過量 (%)	JISA 1103	0.12	0.30							
軟石含有量 (%)	JISA 1126	0.0								
偏平/細長石片の含有量 (%)	舗装調査・試験法便覧	1.66								
単位容積質量 g/ml	JISA 1104									
粘土塊含有率 (%)	JISA 1137	0.07	0.10							

通過質量百分率 (%)	ふるい目の開き	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーニングス	石粉			
	53.0 mm								
	37.5								
	31.5								
	26.5								
	19.0	100.0							
	13.2	99.4		100.0					
	9.5								
	4.75	4.9	100.0	98.5	100.0				
	2.36	0.3	6.9	90.7	93.9				
	1.18								
	600 μm		0.2	47.5	47.5				
	300			20.1	20.4	100.0			
	150			2.2	14.6	97.9			
75			1.3	10.7	88.0				



## 骨材の粒径加積曲線図

目 的 配 合 設 計

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13)

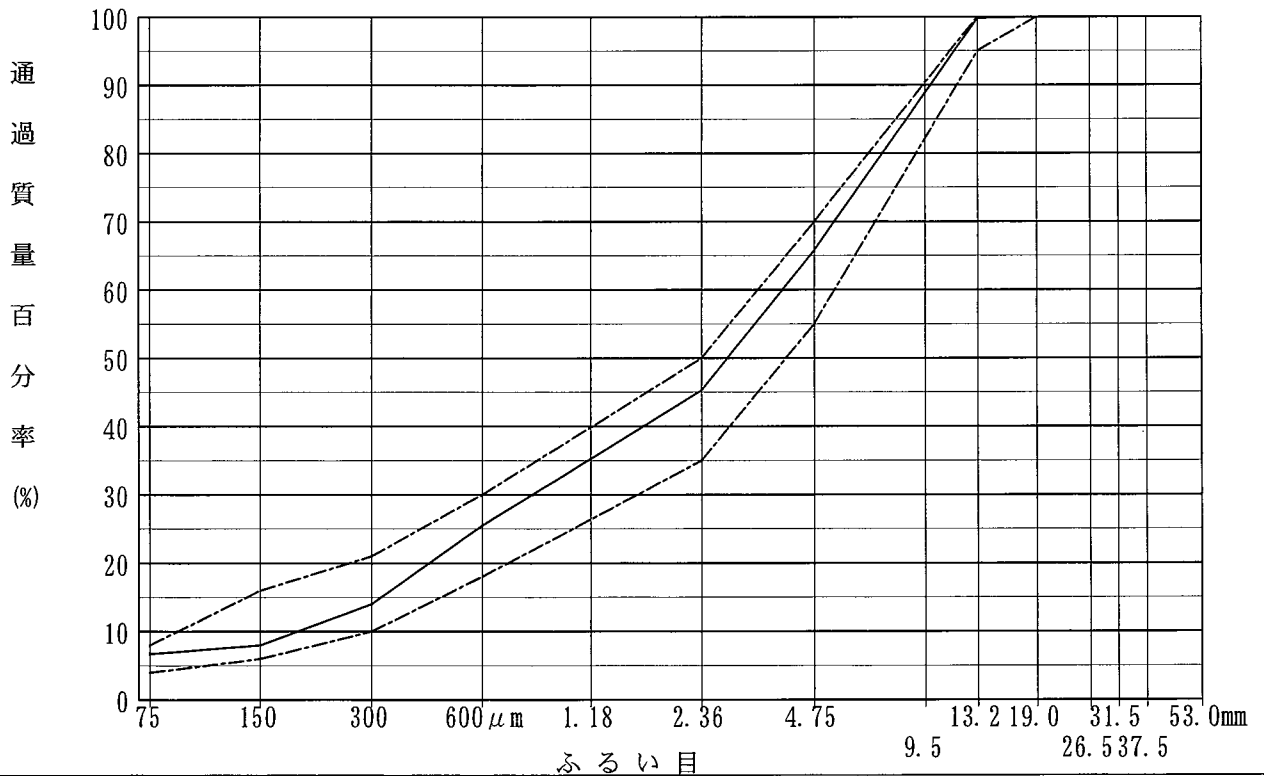
試 験 者 津田 喜明

・合成粒度

ふるい目	合成粒度	粒 度 範 囲
53.0 mm		
37.5		
31.5		
26.5		
19.0	100.0	100
13.2	99.8	95 ~ 100
9.5		
4.75	65.8	55 ~ 70
2.36	45.3	35 ~ 50
1.18		
600 μm	25.5	18 ~ 30
300	14.0	10 ~ 21
150	8.0	6 ~ 16
75	6.7	4 ~ 8

・粒径加積曲線図

----- 粒度範囲  
 ————— 合成粒度



混合物の理論最大密度計算表

目的 配合設計

報告年月日 2026年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13)

試験者 津田 喜明

① 骨材の種類	② 骨材の配合率 (%)	③ 骨材の密度			④ 計算に用いる密度	⑤ $\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
6号碎石	35.5	2.630	2.588	2.701	2.701	13.143
7号碎石	17.0	2.631	2.591	2.701	2.701	6.294
粗砂	28.0	2.583	2.539	2.656	2.656	10.542
スクリングス	14.0	2.668	2.621	2.750	2.750	5.091
石粉	5.5			2.710	2.710	2.030
$\Sigma ⑤ =$						37.100

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルト の密度	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma ⑤ (100-⑥)}{100}$	⑧+⑨	理論最大密度 $100/⑩$
4.5	1.040	4.327	35.431	39.758	2.515
5.0	1.040	4.808	35.245	40.053	2.497
5.5	1.040	5.288	35.060	40.348	2.478
6.0	1.040	5.769	34.874	40.643	2.460
6.5	1.040	6.250	34.689	40.939	2.443
5.5	1.040	5.288	35.060	40.348	2.478

マーシャル安定度試験 (その1)

目的 配合設計 試験年月日 2026年2月  
 混合物の種類 密粒度アスコン(13) 試験者 津田 喜明  
 アスファルトの種類 60-80 アスファルトの密度(A) 1.040 g/cm<sup>3</sup> アスファルトの温度 157 (°C)  
 骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 144 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭		⑮	⑯
		アスファルト量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中質量 (g)	水中質量 (g)	表乾質量 (g)	容積 (cm <sup>3</sup> )	密度 かさ (g/cm <sup>3</sup> )	理論 (g/cm <sup>3</sup> )	アスファルト容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度		フロー値 (1/100cm)	備考
														力計の読み	安定度 (kN)		
標準	1	4.5	6.34	1195.1	687.2	1197.3	510.1	2.343						7.34	7.34	27	
	2		6.35	1194.2	685.6	1196.3	510.7	2.338						7.16	7.16	24	
	3		6.35	1195.8	688.9	1198.2	509.3	2.348						7.48	7.48	26	
							(注1)	(注2)	$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	⑨+⑩	$\frac{⑨}{⑪}$		(B) × ⑬			
標準	4	5.0	6.32	1205.6	698.7	1207.0	508.3	2.372						8.01	8.01	30	
	5		6.31	1204.8	696.9	1206.3	509.4	2.365						7.56	7.56	28	
	6		6.31	1205.1	700.0	1206.5	506.5	2.379						7.80	7.80	27	
							2.372	2.497	11.4	5.0	16.4	69.5		7.79	28		
標準	7	5.5	6.34	1215.8	705.1	1216.6	511.5	2.377						8.17	8.17	30	
	8		6.35	1215.3	706.2	1216.0	509.8	2.384						7.98	7.98	29	
	9		6.33	1214.7	707.3	1215.4	508.1	2.391						8.42	8.42	31	
							2.384	2.478	12.6	3.8	16.4	76.8		8.19	30		
標準	10	6.0	6.34	1214.3	705.8	1214.8	509.0	2.386						8.18	8.18	31	
	11		6.35	1215.8	706.1	1216.4	510.3	2.383						8.07	8.07	32	
	12		6.34	1214.1	706.8	1214.6	507.8	2.391						8.38	8.38	33	
							2.387	2.460	13.8	3.0	16.8	82.1		8.21	32		
標準	13	6.5	6.36	1214.2	703.4	1214.5	511.1	2.376						8.01	8.01	33	
	14		6.35	1213.6	704.3	1214.0	509.7	2.381						8.21	8.21	34	
	15		6.37	1214.6	702.7	1214.9	512.2	2.371						7.82	7.82	34	
							2.376	2.443	14.9	2.7	17.6	84.7		8.01	34		

(注1) ⑤-④

(注2)  $\frac{③}{⑥}$

(注3)  $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

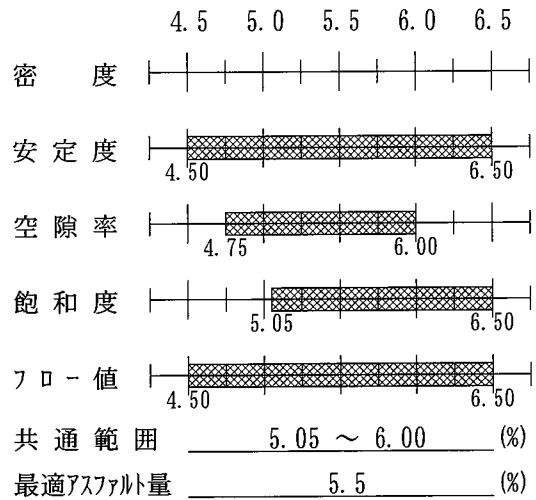
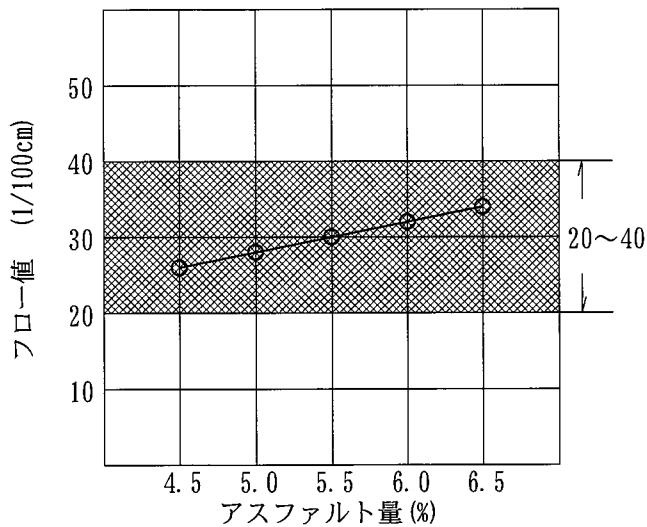
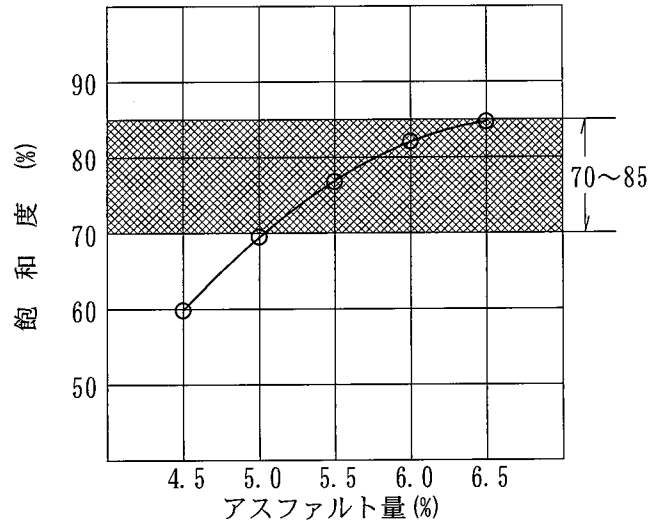
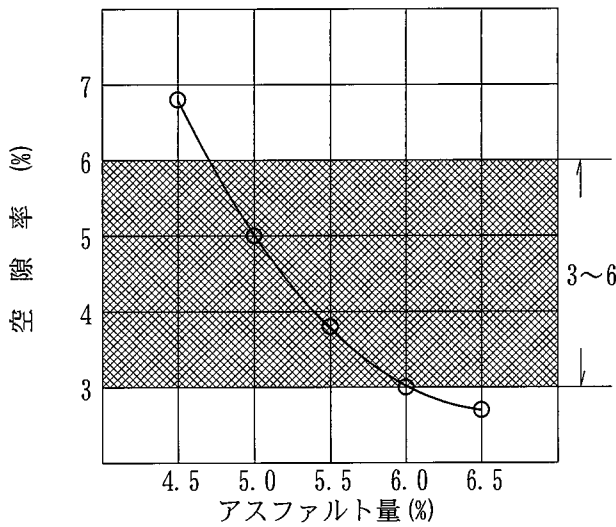
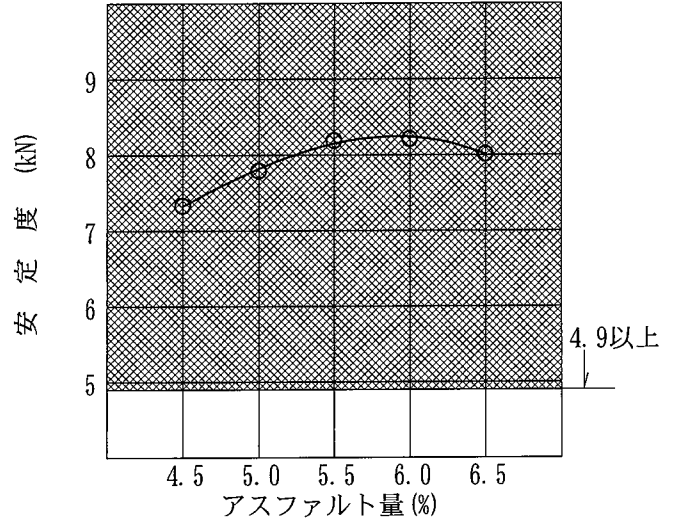
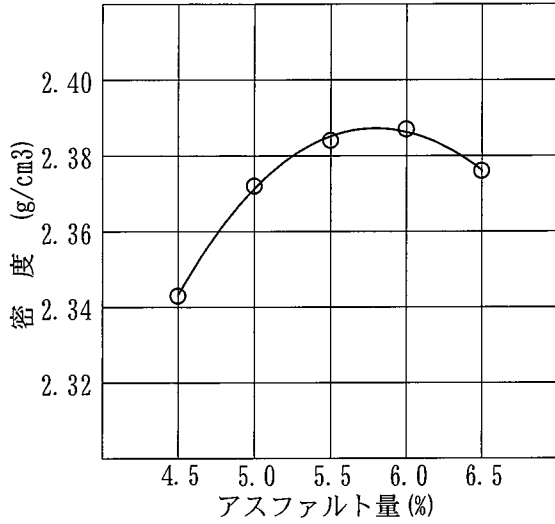
# マーシャル安定度試験 (その2)

目的 配合設計

試験年月日 2026年2月

混合物の種類 密粒度アスコン(13)

試験者 津田 喜明



# 配合設計まとめ

混合物の種類 密粒度アスコン(13)

報告年月日 2026年2月

試験者 津田 喜明

## 1. 骨材配合率

材 料	6号碎石	7号碎石	粗砂	スクリーングス	石粉			
配合率 (%)	35.5	17.0	28.0	14.0	5.5			

## 2. 合成粒度

ふるい目	53.0mm	37.5	31.5	26.5	19.0	13.2	9.5	4.75	2.36	1.18	600 $\mu$ m	300	150	75
通過率					100.0	99.8		65.8	45.3		25.5	14.0	8.0	6.7

## 3. 最適アスファルト量

OAC・・・ 5.5 %

## ホットビン粒度設計

目的 試験練り

報告年月日 2026年2月

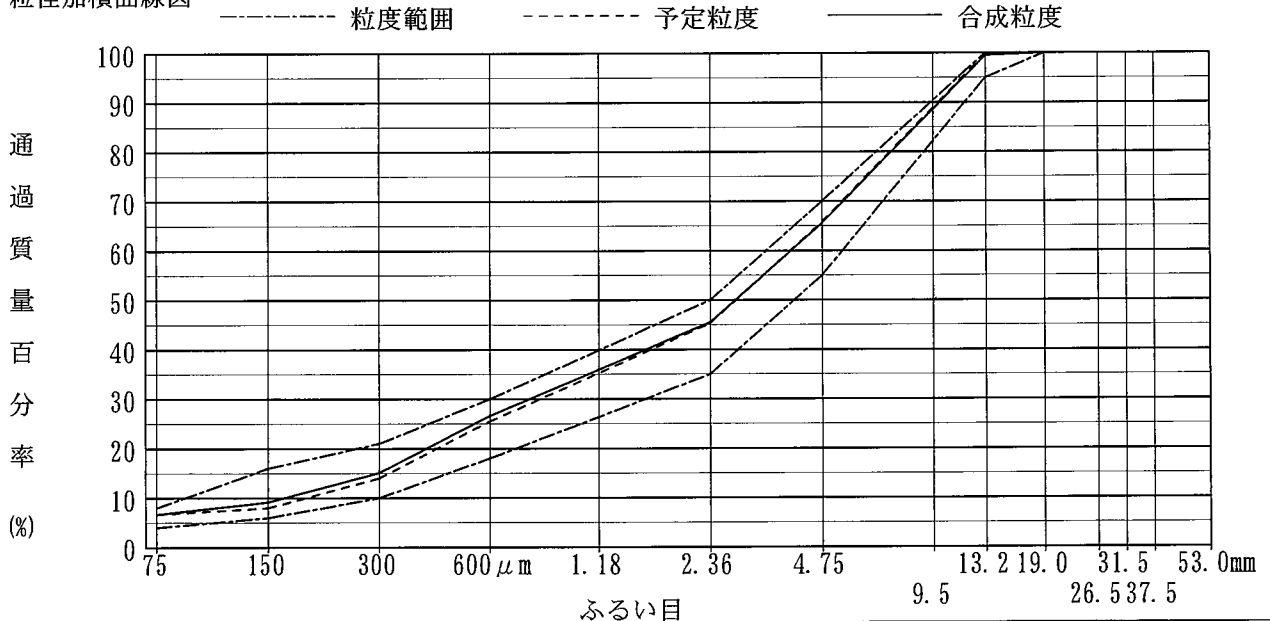
混合物の種類 密粒度アスコン(13)

試験者 津田 喜明

ビン	5 BIN	4 BIN	3 BIN	2 BIN	1 BIN	ダスト	石粉						
配合率 (A) (%)			31.5	20.0	41.0	2.0	5.5						
通過質量百分率	53.0 mm												
	37.5												
	31.5												
	26.5												
	19.0			100.0									
	13.2			98.5	100.0								
	9.5												
	4.75			1.2	83.7	100.0							
	2.36			0.2	1.3	91.8							
	1.18												
(B) (%)	600 μm				0.1	46.7	100.0						
	300					18.6	99.3	100.0					
	150					4.7	93.4	97.8					
	75					0.8	78.1	88.0					

ホットビンのふるい目の大きさ別配合率 (A) × (B) / 100													合成粒度	予定粒度	
ふるい目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
53.0 mm															
37.5															
31.5															
26.5															
19.0			31.5											100.0	100.0
13.2			31.0	20.0										99.5	99.8
9.5															
4.75			0.4	16.7	41.0									65.6	65.8
2.36			0.1	0.3	37.6									45.5	45.3
1.18															
600 μm				0.0	19.1	2.0								26.6	25.5
300					7.6	2.0	5.5							15.1	14.0
150					1.9	1.9	5.4							9.2	8.0
75					0.3	1.6	4.8							6.7	6.7

粒径加積曲線図





マーシャル安定度試験 (その1)

目的 試験練り 試験年月日 2026年2月  
 混合物の種類 密粒度アスコン(13) 試験者 津田 喜明  
 アスファルトの種類 60-80 アスファルトの密度(A) 1.040 g/cm<sup>3</sup> アスファルトの温度 157 (°C)  
 骨材の温度 190 (°C) 突固め時の温度 144 (°C) 突固め回数 50 回 力計の係数(B) ロードセル(1.000)

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ 密度		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ 安定度		⑭	⑮	⑯ 備考
		アスファルト量	供試体平均厚	空中質量	水中質量	表乾質量	容積	かさ	理論	アスファルト容積	空隙率	骨材間隙率	飽和度	力計の読み	安定度	フロー値			
		(%)	(cm)	(g)	(g)	(g)	(cm <sup>3</sup> )	(g/cm <sup>3</sup> )	(g/cm <sup>3</sup> )	(%)	(%)	(%)	(%)		(kN)	(1/100cm)			
							(注1)	(注2)	$\frac{① \times ⑦}{(A)}$	(注3)	⑨+⑩	$\frac{⑨}{⑪}$		(B) × ⑬					
標準	1	5.5	6.33	1214.3	707.5	1215.1	507.6	2.392						8.36	8.36	30			
	2		6.35	1215.2	706.6	1216.0	509.4	2.386						8.05	8.05	29			
	3		6.32	1215.4	705.9	1216.3	510.4	2.381						8.22	8.22	31			
								2.386	2.478	12.6	3.7	16.3	77.3		8.21	30			

(注1)  $⑤ - ④$

(注2)  $\frac{③}{⑥}$

(注3)  $(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$

現場配合まとめ

混合物の種類 密粒度アスコン(13)

報告年月日 2026年2月

試験者 津田 喜明

配 合 表				合 成 粒 度		
種 類	骨材配合 (%)	混合物配合 (%)	計 量 値 (kg)	ふるい目	通過質量百分率 (%)	粒 度 範 囲 (%)
3 BIN	31.5	29.8	298	53.0mm		
2 BIN	20.0	18.9	189	37.5		
1 BIN	41.0	38.7	387	31.5		
ダスト	2.0	1.9	19.0	26.5		
石粉	5.5	5.2	52.0	19.0	100.0	100
				13.2	99.5	95 ~ 100
				9.5		
				4.75	65.6	55 ~ 70
				2.36	45.5	35 ~ 50
アスファルト		5.5	55.0	1.18		
				600 $\mu$ m	26.6	18 ~ 30
				300	15.1	10 ~ 21
				150	9.2	6 ~ 16
				75	6.7	4 ~ 8
計	100.0	100.0	1000.0			

最適アスファルト量

OAC・・・ 5.5 %